

第1回「次世代産業の育成（平成29年7月21日開催）」の主な御提言に係る県の対応

主な御提言（要旨）	県の対応
<p>企業等が産業技術展への参加を通じた情報収集を行い、世界レベルの知見を広げることが必要ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・航空宇宙産業の国際展示会「国際航空宇宙展2016」や国際商談会「エアロマート名古屋2017」に出展した県内企業向けに、コンサルティングを始めとした出展支援を行いました。 ・平成30年度は、航空宇宙産業の海外販路開拓を牽引するコンソーシアムを設置し、海外の地方政府等とも連携し、国内外の展示商談会等を活用した、海外メーカーと県内企業とのビジネスマッチングを支援します。
<p>ロボットなどの新商品は最初の実用化・普及段階が難しい。企業等と自治体が協力し合い、自治体が補助事業に取り上げるなどのサポートがあると良いのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年8月に「あいちサービスロボット実用化支援センター」を国立長寿医療研究センター内に設置し、モノづくり企業とロボットの利用者となる介護保険事業者等とのマッチングや、国・県の補助制度に係る情報提供などの支援を行っています。 ・また、ロボットや次世代自動車など、将来の成長が見込まれる分野において、企業等が行う研究開発・実証実験を支援する「新あいち創造研究開発補助金」では、平成30年度からサービスロボットの実用化に関する補助メニューを新設します。 ・介護保険事業所への介護ロボット導入を促進し介護従事者の負担を軽減するため、介護保険事業者を対象に介護ロボットの導入経費を補助しています。
<p>これからの産業を支えるのはベンチャーではないか。</p> <p>ソフトウェア人材の育成が課題となっている。若者によるIoT分野での起業が活発な地域を目指すべきではないか。</p> <p>ベンチャーの成長には技術とファイナンスがセットで必要。投資機関は東京に集まっており、東京でないと資金が調達できない。ファイナンス環境の育成が必要ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度には、「新しいアイデア」を持った人材や「新しいアイデア」を生み出したい人材を発掘し起業家として養成するため、起業家発掘イベント「ウィークエンド・スタートアップ・キャンプ」を開催するほか、キャンプ参加者のビジネスプランの磨き上げや、投資家や取引・提携先候補企業等に向けたプレゼンテーションを行うイベントを開催します。 ・「先導的ベンチャー支援事業」として、ITやIoTによるデータ活用等を行う企業を対象に、著名事業家によるビジネスプランの磨き上げや、ベンチャーキャピタルや取引・提携先となる大手企業等に対する発表会を開催し、新たなビジネスモデルやベンチャー企業の成功モデルを生み出すことにより、「愛知発スタートアップ」の機運をつくります。 ・STEM教育（科学・技術・工学・数学の分野を重点とする教育）の推進に向け、県立高校へITベンチャーの起業家等を実験・実習の支援員として派遣し、ソフトウェア人材の育成に向けた教員の指導力向上を図っています。 ・ベンチャー企業の資金繰りについては、中小企業の方向けの融資制度の中に「創業等支援資金」という創業者向けメニューを設けて支援しています。創業は貸倒れリスクの判断が難しく、単独の金融機関による融資が困難なこともあるため、株式会社日本政策金融公庫との協調融資を前提とする「協調融資枠」、クラウドファンディングとの連携融資を前提とする「クラウドファンディング活用促進枠」を設け、融資の実現を促進しています。
<p>日本の特許160万件のうち、約半数が未活用。開放特許の有効活用により、新しい産業を生み出すことが出来る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業が大企業等の開放特許を新製品開発・新事業展開に利用できるよう、普及セミナー、知財マッチングイベントを開催しているほか、「知の拠点あいち」等にコーディネーターを設置し、開放特許の活用促進を図っています。
<p>子どもたちの創造性育成のためには、低学年からモノづくりの機会を持ち、コンテスト入賞など成功体験を積み重ねること、そして、中学生のうちから世界の子どもたちと触れ合い、競い合うことが必要だと考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・（一社）愛知県発明協会等と連携して「あいち少年少女創意くふう展」を開催し、優秀作品を表彰しているほか、平成29年度には「世界青少年発明工夫展」を開催し、県内の発明クラブの子どもたちの国際交流を促進しました。 ・平成30年度は、発明クラブ紹介展や県内発明クラブ関係者による全国競技会の視察を行うほか、発明クラブ間の交流会を開催し、発明クラブのさらなる活性化を支援します。
<p>次世代産業の振興に向けた人材育成のための環境づくりとして、育児と介護を両立させ、キャリアを中断することなく働き続けられるような、時代に合った制度の構築や保育園・学童保育などの環境整備、介護制度の充実が必要ではないか。多くの企業で育児時短制度など様々な制度が取り入れられているが、まだ利用できる環境が十分に整っていないと感じる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の活躍のカギを握る経営トップの意識改革に向け、企業経営者等を対象とした「あいち女性の活躍促進サミット」を開催しています。 ・保育所や放課後児童クラブ（学童保育）の整備、病児・病後児保育や休日保育など、多様な保育サービスの充実に努めているほか、県高齢者健康福祉計画に基づく介護施設等の整備を促進するため、市町村や社会福祉法人が行う介護施設等の整備事業に補助を行っています。 ・介護による離職を防止するため、主に中堅企業・中小企業向けに、仕事と介護の両立支援策の導入を促進するセミナーを開催しているほか、従業員が仕事と育児・介護を両立できるよう積極的に取り組んでいる企業を登録し、専用ウェブサイトでその取組を紹介しています。